

警戒区域、避難指示区域等の見直しについて ~~（案）~~

平成24年3月30日

原子力災害対策本部

1. 東京電力福島第一原子力発電所事故に伴い設定した警戒区域及び避難指示区域（計画的避難区域を含む）について、「ステップ2の完了を受けた警戒区域及び避難指示区域の見直しに関する基本的考え方及び今後の検討課題について」（平成23年12月26日 原子力災害対策本部）に基づき、以下の市村について、警戒区域及び避難指示区域の見直しを行うことを決定し、別添1のとおり公示するとともに、関係市村長に対し、別添2のとおり指示を行う。

(1) 川内村

- ① 村内の警戒区域を解除する。
- ② 村内の避難指示区域を、別添1の公示のとおり、居住制限区域及び避難指示解除準備区域に設定する。
- ③ 上記①及び②の警戒区域及び避難指示区域の見直しは、平成24年4月1日午前0時に行う。

(2) 田村市

- ① 市内の警戒区域を解除する。
- ② 市内の避難指示区域を、別添1の公示のとおり、避難指示解除準備区域に設定する。
- ③ 上記①及び②の警戒区域及び避難指示区域の見直しは、平成24年4月1日午前0時に行う。

(3) 南相馬市

- ① 市内の警戒区域を解除する。
- ② 市内の避難指示区域を、別添1の公示のとおり、帰還困難区域、居住制限区域及び避難指示解除準備区域に設定する。
- ③ 対象となる区域が広域であること、人口が多いことなどの理由から、必要な準備期間を考慮し、上記①及び②の警戒区域及び避難指示区域の見直しは、平成24年4月16日午前0時に行う。

2. 本決定にあたって、原子力災害対策本部長は原子力安全委員会に意見を求め、対象市村の警戒区域及び避難指示区域の見直しについて「警戒区域の解除については差し支えない。新たな避難指示区域の設定については、総合的に勘案して適切に対応されたい。」(P)旨の意見が本日、原子力安全委員会から示されている。
3. 他の町村については、引き続き県、町村、住民などの関係者との綿密な協議・調整を行いながら、早期に関係者の合意を得ることを目指す。
4. なお、事故発生後1年間の積算線量が20ミリシーベルトを超えると推定されるとして設定された特定避難勧奨地点については、解除後1年間の積算線量20ミリシーベルト以下となることが確実であることが確認された場合には、解除することとする。

以上

シンペ
 ウミタ
 ドンコ
 キタム
 キツネ
 ギンア
 ギンフ
 クロウ
 クロソ
 クロダ
 ケムシ
 コイ
 コモン
 サブロ
 シロメ
 スズキ
 ニベ
 ヌマガ
 ナメタ
 ヒガン
 ビノス
 ヒメマ
 ヒラメ
 ホッキ
 マアサ
 マガレ
 マコカ
 マゴチ
 マダラ
 ムシカ
 ムラン
 ナメタ
 ヤマメ
 ワカサ

■肉・
 イノシ
 カルカ
 キジ肉
 ツキノ
 ニホン
 ノウサ
 ヤマト

住民の一時一素化を進める方針。

区域全域↓準備区域に

区域↓準備、制限区域に

に実施され、第一原発事
故と川内村の
間では、田村
三域を年間積
累以下地域に
指定する避難指示解除準備区域、川内村は警戒区域のほとんどの地域を解除準備区域、下川内の貝ノ坂、荻地区を20ミリ超50ミリ以下の居住制限区域に再編された。また南相馬市も区域再編に伴うバリケードの設置な

南相馬 伊達川内の特定勸奨地点

年間20ミ
リ以下で解除

片倉の字行津の区域
 馬場の字五台山、字横川
 および字薬師岳の区域
 高倉の字助常、字吹屋峠、
 字七曲、字森および字枯
 木森の区域
 市内国宥林磐城森林管理署
 2006林班、2018林班から
 2028林班、2030林班から
 2047林班、2049林班から
 2054林班、2056林班から
 2063林班、2065林班、20
 76林班から2078林班、20
 88林班の一部、2089林班、
 2090林班、2096林班から
 2102林班
 【帰還困難区域】
 小高区
 金谷の字小畑、字ドウケ、
 字出戸間松および字野中
 の区域
 市内国宥林磐城森林管理署
 2064林班、2066林班から
 2075林班、2079林班から
 2087林班、2091林班から
 2094林班、2104林班から
 2109林班

政府の原子力災害現地対策本部は（放射性物質が安定化し、放射線量が減る）自然減衰だけで認めてもらうのは難しい」とし、地域の除染状況を踏まえて自治体

政投銀デ－タ分析

村内有林磐城森林管理署
632林班、633林班、635
林班、636林班

16日再編

■南相馬市・
【避難指示解除準備区域】
小高区
片草、小高、大井、塚原、
仲町、田町、開場、西町、
上町、東町、南町、大町、
本町、南小高、福岡、水谷、
泉沢、岡田、村上、
角部内、蛭沢、井田川、
浦尻、下浦、女場、耳谷、
行津、上浦（以上全ての
区域）
神山の字池ノ沢、字馬場
前、字馬場下、字堂平、
字神山下、字竹ノ町、字
土橋、字長畑、字数倉、
字大豆谷、字砂子町および
字藤右エ門屋敷の区域
上根沢、小屋木、吉名、
藤木、飯崎（以上全ての
区域）
大田和の字下川原、字川
原、字西田、字前田、字
浜井場、字広畑、字館越、

被災地、雇用ミスマッチ

番地、91番地1、91番地
 、91番地7、91番地8、
 2番地2、92番地4、93
 番地1、93番地3、93番
 24、93番地5、95番地
 、95番地3、96番地1、
 3番地4、96番地5、98
 番地1、99番地1、100
 番地1、100番地3、104
 番地1、104番地2、105
 番地1、106番地1、108
 番地1、108番地2、111
 番地1、111番地2、111
 番地3、111番地5、112
 番地、127番地1、127番
 22、128番地1、128番
 23、129番地、135番地、
 37番地、138番地
 小滝沢のうち、121番
 21、121番地2、121番
 23、121番地4、121番
 27、121番地8、121番
 29、121番地10、121番
 211、121番地13、121番
 214、121番地15、122番
 22、126番地、128番地、
 37番地、138番地、139
 番地、140番地、141番地
 、141番地2、142番地、
 43番地、144番地、146
 番地2、148番地、149番
 2、153番地、156番地を

マツチ

ええる一方、未

50%程度増

30~40%程度減つ

成年は

た。政投銀は「若年層が将来への希望を失つて被災地から流出している可能性が

ちつ、置月寸前が急務だこ

東日本大震災被災状況
県内被害状況

31日午前8時現在)
県など調べ

	2370人
不明者	45人
傷者	182人
者	3万546人
全壊	2万387棟